

平成２６年度 城東区区政会議 地域まちづくり部会（１１月）

日時：平成２６年１１月１８日

開会 １９時００分

（谷口部会長）

失礼いたします。皆さん、お忙しい中、御出席をいただきまして、本当に御苦労さまでございます。ただいまちょうど定刻になりましたので、平成２６年度城東区区政会議地域まちづくり部会、１１月の部会を開会いたします。

まず最初に、事務局より事務連絡があるようですので、事務局のほう、よろしくお願いいたします。

（安倍課長）

皆さん、こんばんは。総務課長の安倍でございます。どうかよろしくお願いいたしますと思います。それでは、地域まちづくり部会の開会に当たりまして、事務連絡をさせていただきたいと思います。

本日は、デフサポートの皆さんに手話通訳をお願いしております。

委員の皆様におかれましては、御発言に当たりまして、マイクを通して少しゆっくり目にお話しただければ幸いです。マイクは区の職員がお持ちさせていただきます。

本日は、公開の会議でございますので、報道機関に写真撮影を許可しております。

また、議事録を作成する必要があるございますので、会議を録音させていただきますので、御了承のほど、よろしくお願いいたしますと思います。

次に、本日の区政会議に御出席いただいております市議員の方を御紹介したいと思います。ホンダ議員でございます。

（ホンダ議員）

皆様、お疲れさまです。よろしくお願いいたします。

（安倍課長）

最後に区役所でございます。区長の奥野以下、出席させていただいております。

（奥野区長）

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

地域まちづくり部会ということで、区の運営方針について、また御議論いただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（谷口部会長）

はい、ありがとうございます。

それでは、事務局のほうから本日の配付資料の確認をお願いいたします。

（安倍課長）

それでは、私のほうから本日お手元に配付しております資料の確認をさせていただきたいと思

います。

まず、次第でございます。それから別紙1ということで、部会の名簿をつけさせていただいております。2枚もののホッチキスでございます。別紙2で配席図をつけさせていただいております。欠席の方がおられますので、変更が生じております。それから資料1としまして、平成27年度城東区運営方針（検討版）バージョン2ということでお配りさせていただいております。これにつきましては前回の本会におきましてお配りしましたバージョン1に予算額や、またデータなど、市の提出様式に合わせた記入項目の追加も行っております。それから続きまして資料の2でございます。城東区区政会議本会での意見・質問への区の考え方という形で出させていただいております。これが資料2という形でつけさせていただいております。それから資料3としまして、御意見シートをつけさせていただいております。

また、会議資料とは別に、去る10月に区政会議の運営の基本となる事項に関する条例のガイドブックが、内容自体は変わっておりませんが、編集をし直されて市のホームページに掲載されておりますので、それをコピーした分をお渡しさせていただいております。御参考に御一読いただければ幸いというふうに思っております。

以上、お揃いでしょうか。

それでは、よろしくお願いします。

（谷口部会長）

はい、ありがとうございます。

では、これより8時30分をめぐり、会議のほうを進めてまいりたいと思います。延長がありましても9時には終了いたしたいと思っております。皆様方の御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは、議事に入ります。

資料1、資料2、この2つにつきまして、事務局より説明をお願いいたします。

（奥野課長）

総合企画担当課長の奥野でございます。座って説明させていただきます。

資料1でございますけれども、まず、今回、表紙にバージョン2というふうに書いております。前回、区政会議の本会では、バージョン1ということで御報告させていただきましたけれども、今回はバージョン2ということで、後ほど、どこが変わったかというのを中心に御説明させていただきたいと思います。

1ページ目は目次ですとかスケジュールが書いております。これは以前と変わったところはございません。

6ページ目をごらんいただきますでしょうか。

6ページ目には、まず総括として、全体的なところを見ていただきたいわけなんですけれども、本日、この地域まちづくり部会で御議論いただくのは、経営課題の1というところのまちづくり、そして経営課題4の区役所づくり、そして最後の基本方針の素案に基づく取り組みというようなことでございます。

今回はお話はしませんが、経営課題2ということで、先週、地域福祉部会のほうで健康、福祉について御議論がありました。区の施策としては、まず子育てということで、「絵本

で子育て！みんなで子育て！」、それから高齢者、障害者、子供、地域を互いに見守り、支え合うという地域の福祉ということで、ソーシャルインクルージョンの話、そして3番目として、いわゆる健康ということで、COPDの理解・認知度の向上といったものが戦略として挙げ、議論されたところです。

次に、経営課題3ということで、これも先週、地域の防災・防犯の部会がありました。これにつきましては、いわゆる防災ということで、蒲生公園を中心とした防災拠点の整備でありますとか、あるいは犯罪の少ない安全なまちづくりということで、防犯力の向上について議論があったところでございます。

それでは、本日、地域まちづくりのほうで御議論いただくものについて詳細に説明させていただきます。

まず、7ページをごらんください。

大きく経営課題といたしましては、多くの区民が近所づき合い、つながり、きずながあり、ふるさと城東区を誇りに思うまちづくりということでございます。現在、区民モニターでは96.6%の方が住みやすいというふうに感じておられますけれども、その要因としては、6割以上の方、複数回答ですけれども、交通が便利であるとか、買い物が便利であるといったところが城東区の1つの魅力と言いますか、住みやすい町と感じる大きな要因になっているのかなということでございます。

また、城東区に愛着を感じると考えておられる方は86.4%おられまして、これは100%というふうに1つの回答をいただいたところ、半数、若干少ない47%が長年住んでいるから。そして19.6%が交通の便利がよいから。また8.8%がふるさとであるから。そして7.7%が地域のコミュニケーションがよいからということで、長年住んでいて愛着を感じておられるという方が半数近くを占めておるということでございます。

そういった中で、区民モニターで見てみますと、8ページですけれども、地域のつながりやきずながふえていてと感じている区民の割合ということでお聞きしましたところ、感じる、ある程度感じるということで、45%ほどの方が何らかの形でふえてきているなと感じておられるところでございます。

ただ、強く感じておられるという方は、61歳以上の方は21.5%ということでございますけれども、やや60歳未満の方はある程度感じる、あるいは余り感じないというようなところが今、多いかなというふうに考えております。

何を思っつながりやきずながふえていてと感じているのかなということですが、やはり日ごろからあいさつする相手がふえたと感じることがつながり、きずなづくりということでございまして、特に50歳代以上の方が6割以上の方、あるいは20歳以下の方もそうなんですけれども、あいさつがふえたという方でございます。

また、30代、40代のいわゆる現役世代の方は、日ごろからあいさつをふえたという方も4割おられますけれども、子育てや学校を通じて知り合いがふえたという方も3割おられるというような結果になっております。

こういったことも含めて、城東区のとつながり、きずなづくりについていろいろと考えて見えたところでございまして、まず戦略1-1ということで、9ページをごらんください。

戦略1－1で、いきなり「タテ・ヨコ・ナナメでつながるまちづくり」というふうに、ちょっと聞きなれないと言いますか、本会でもちょっと御説明させてもらいましたけども、新しい言葉を使っております。城東区、これまで、運営方針は集中と選択ということで、どちらかと言えば、地域活動協議会でありますとか未来会議の取り組み、あるいは城北川の取り組みを重点的に取り組んできたところでございます。

しかしながら、これまでも、城東区、いろいろと地域の活動団体が、いろんな活動をやっているということでございます。後ほど見ていただく10ページ、11ページにもございますとおり、さまざまな団体が、生涯学習であったり音楽であったり、そういった活動をしているということでございます。こうした活動を、本当に縦、横、斜めというふうにつないでまちづくりをしていくことがつながり、きずなをふやしていくことになるのかなというふうに考えまして、「タテ・ヨコ・ナナメでつながるまちづくり」というふうにさせていただきまして、今までそれぞれの分野で活動していたそういう活動がまた1つのつながり、つながりがつくっていただければいいのかな、あるいは小学校区、校区ごとのつながり、あるいは区を横断した取り組みといった、さまざまな取り組みをつなげていくようになっていただければいいのかなということでございます。

したがって、10ページからありますとおり、地域活動協議会の情報発信などの支援というのを1番に置き、2番目として、生涯学習ですね、生涯学習ルームあるいは、はぐくみネットの活動、そして3番目に未来わがまちビジョンあるいは城北川のアメニティゾーン化計画、そして4番として、音楽でありますとかロビーコンサートとか吹奏楽フェスティバルもありますけども、青指の中学生絵画・写真コンクールの開催など、さまざまな音楽・芸術活動も光を当てていくということですね。そして5番目ですけども、花と緑のまちづくりということで、もうこれもいろんなさまざまな団体が緑化活動を行っておりますので、そういったことでもありますとか、あるいはスポーツ・レクリエーションの事業、そういったことも含めてつながりづくりを行っていくということでございます。

続きまして、13ページでございます。

13ページは、都市魅力の情報発信ということで、ことし4月から、ある意味、城東区の都市魅力の中で、城北川ということを中心に昨年までやっておりましたけども、まだまだ城北川以外にもいろいろと歴史的・文化的な魅力があるのではないかとということで、それが情報発信、十分にできていないのではないかとというような御意見もございました。そうは言いながらなかなかお金もかけてということにもならないということもありまして、1番から3番までであるように、案内板の設置でありますとか、ふれあいマップをつくったり、また昨年から歴史冊子ということで、小学校へ配布すると。そういったところからまず魅力を発信していこうということでございます。

それと、4番に書いておりますように、これは都市魅力の情報発信だけではないんですけども、区政全般の情報発信という意味も含めまして、広報紙の発信ということで、今タブロイド版で行っております広報紙をA4判にして、今まで以上にボリュームもそうですし、手に取って見ていただきやすいような形での編集をしていきたいなということで、区のホームページの情報発信というふうにさせていただいております。

続きまして、区役所づくりということで、ページがかなり飛ぶんですけれども、31ページをごらんください。

31ページが「区民の皆さんに信頼される区役所づくり」ということで、目指すべき将来像として、区民の皆様が利用しやすい便利で親切的な区役所ということと、区民の意見、ニーズが区政に反映して、そして区政運営が地域実情に応じて行われておると。そして区民の皆様がそれを実感している状態というふうにしております。

現状・データ例に書いておりますように、まず区役所の業務の格付ということで、よく新聞紙上で城東区役所は星が1つやとか、そんな話も出てきているかと思いますが、今現在はそういった形で民間の窓口サービスの平均的なレベルであるというふうに城東区のサービスは評価されてるというところでございます。

また、現在の庁舎というのが非常に老朽化が進んでおりまして、また狭隘のために来庁者にも御不便をかけておるというところもございます。

また、城東区、来庁者が多いということもありますけれども、待ち時間が長くなっておりまして、保険年金の窓口においては1時間を超える待ち時間ということも場合によってはあるということでございます。

また、区政運営につきましても、計画段階から区民との対話や協働により進められていると感じる区民の割合は今12.6%。多様な意見やニーズが届いていると感じてる区民の割合は8.6%というふうな現状とデータでございます。

そういったことも含めて、分析なり課題をしまして、具体的な戦略を練ったところでございまして、まず33ページをごらんください。

窓口サービスの向上ということでございまして、成果目標というところで中ほどに書いておりますけれども、平成29年度末までに窓口の応対についてサービスがよくなったなど感じていただけるような区民さんの割合を80%以上にするということと、いわゆる星、2つ以上ということで、民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベルを目指すというのを目標に掲げて戦略をつくっているところでございます。

その具体的な取り組みが34ページにございます。

34ページは、住民情報窓口の民間委託ということで、今、民間委託を進めているところですが、民間委託のサービスを今、円滑の実施ということで民間委託に対する研修でありますとかミーティングなども行いながら円滑実施に取り組んでおるということでございます。

それと、窓口サービスの向上ということで、手続案内書でありますとか、お祝いカードなど、きめの細かいサービスを提供していきたいというふうに考えてます。

また、保険年金の窓口のサービスの向上ということで、なかなかこう待ち時間の短縮も難しいところではありますけれども、フロアマネジャーや窓口以外の職員が事前の記入補助を行うなど、待ち時間を少しでも短縮していくというようなことを考えてるところでございます。

最後に、まとめじゃないですけども、人材育成ということで、全職員を対象に、窓口対応や電話対応の能力向上のため、外部講師ということで、研修を実施しているというようなことでございます。

続きまして、4番の2ということで、36ページでございます。

区民のニーズを把握するというようなこと、またということで、37ページにもございます、具体的取り組みがございますけれども、この区政会議、区政会議の運営でありますとか、また昨年は区長とランチミーティングという形で実施させていただきましたけれども、ちょっと装いも新たに、区長との「ふるさと一く」ということで、今現在これの募集中ということでございますので、また皆さんの中でそれぞれ少し区長とのざっくばらんな意見交換の場ということで、また地域の中でありましたら、また積極的にさせていただきたいというふうに思います。それから、区民ニーズということで、区民モニターや市民の声のニーズ把握ということで、今回もいろいろとデータを少しお出ししましたけれども、そういったものも積極的に出していききたいなというふうに考えております。

最後に、基本方針に基づく取り組みということで、38ページにございますとおり、先ほども申しました情報発信の強化でありますとか、それからコンプライアンスの確保ということで、そして保険料の収納率の向上といったところを取り組んでいくということでございます。

続きまして、39ページでございますけれども、これは区長の自由経費ということでございます。区の、今までは運営方針ということで、取り組みを中心にやってきたんですけども、それを予算という形で整理したのが今回の39ページから40ページまでの表でございまして、特に経営課題1でありましたら、運営方針の右側に具体的取り組み番号というのが書いてあるかと思えます。例えばアイラブ城北川プロジェクトというのは1-1-3と書いておりますけれども、それが先ほど申しました具体的取り組みの1-1-3に該当するというところでございます。そして、どこにも書いてなかった分につきましては、それぞれ区の運営方針には書いておりませんけれども、区としては予算を立ててやっていくという事業でございます。よく区の運営方針に書いてあるからほかのことはやってないんかというような御意見もと言うか、御疑問もございましたので、今回は区の予算につきましてはすべて予算を出しているというところでございます。

ただ、これ平成27年度の算定額と書いておりますように、今現在これは財政局のほうに提出したという段階でございますので、これから財政局のほうと調整しまして、ある意味、査定というものも入りまして数字が確定していくということで、2月半ばごろに最終的な確定があり、それを踏まえて今度は市会で議論をされて、最終的には4月1日から予算、平成27年度が予算がスタートするというところでございます。2月中ごろの確定についての御報告は、また2月ぐらいに区政会議の最終的に本会を開きまして、皆さんに結果としてどうなったかというのは御報告させていただくということでございます。

なお、ちょっと41ページに、下に区長CM経費ということで抜粋されているのがございます。これ今回のまちづくり部会の直接の議題ではないのですが、ちょっと御説明させていただきますと、22ページをちょっと遡って見ていただきたいと思いますというふうに思っております。

区長の、区のシティマネジャーと言うか、区のCMというふうに書いております。以前でしたら、区長というのは区役所、よく本庁と区役所という言い方をすれば、区役所の業務についての指示・命令系統があったということでございますけれども、平成24年度から区のシティマネジャーというのを区長が兼務すると言うか、権限を持つということになりまして、例えば区内の道路でありますとか、公園でありますとか、そういったものについても区のシティマネジャ

一ということで、区長がいわゆる局を指揮するというような形になっていくということでございます。

したがって、先ほどの41ページにもありましたように、防災拠点の公園での整備でありますとか地域の要援護者の福祉局の事業なども今までにない区長の権限として、区シティマネージャーとして予算化、予算執行できるということでございます。

以上が、まず資料1の御説明でございます。

次に、資料2ということで、城東区区政会議本会の意見・質問への考え方ということで、意見・質問とその考え方を書いた物があるかと思えます。

そのうち、まず1ページから3ページ目までは、いわゆる10月21日の本会に出た意見でございます。

これにつきましても、例えば広報のことであったり種花事業のことであったりということに対して、区の運営方針についての取り組みや予算も含めて回答という形で書かさせて、回答と言うか、考え方を書かさせていただいてるところでございます。

それから、きょうのまちづくり部会に関係するところとしては、7月にいただいた御意見については5ページ目から8ページ目まで書いております。その中で例えば3番にありますように、運営方針に直接反映している、あるいは関係のあるという場合は、こちらにかぎ括弧で運営方針における取り組みや予算というふうに書かせていただきまして、先ほどの資料1に詳細が書いてあるということでございます。

また、運営方針には直接ふれておりませんでしたけれども、例えば1番、2番の区役所の整備跡地利用などにつきましては、考え方として情報提供を整備、概要を情報提供するでありますとか、また跡地については区民の皆さんの御意見を活用するなど、この考え方のほうで書かせていただいております。

同じように、区の運営方針にはふれておりませんが、8ページの10番にありますように、淀川左岸線の延伸についての進捗状況ということにつきましては、また区民への住民情報や情報提供を当局に促していくというような形で考え方を書かせていただいております。

以上、雑駁ではございますけれども、説明させていただきました。よろしくお願いいたします。

(谷口部会長)

はい、ありがとうございました。

ただいま、事務局より説明がありました。

それでは、これから委員の皆様から御意見をちょうだいしたいと思います。

御意見がございましたなら、挙手の上、お名前を名乗っていただいた上で御発言をゆっくりお願いいたします。

何か御意見いかがでございますでしょうか。

はい、藤田委員。

(藤田委員)

こんばんは。葦の藤田でございます。ありがとうございます。

今、奥野課長のほうからる説明がありまして、本当に今までのことがよくわかりますし、そ

れから資料の2のほうも読ませていただいても、そうだ、こういう話があったよねっていうことで、本当にありがたいなと思っております。

その中で、平成27年度の運営方針の「タテ・ヨコ・ナナメのまちづくり」っていう部分なんですけれども、今るる聞いておりましたも、できたら子供の目線のそういう発言のある場所をつくっていただきたいなと思っております。

っていうのは、やはり鳥の目とか虫の目とか言いますように、やはり大人が考えたまちづくり、縦、横、斜めの中に子供の意見が入るような、子供会議ですかね、そういうもので入れる中で、城東区にずっと生まれて育って死んでいくまで、子供たちが城東区をふるさとにできるようなまちづくりも、子供たちの意見を聞けるようなところがぜひとも必要かなと思っておりますので、また検討していただければいいと思いますけど、委員長、いかがでございましょうか。

（谷口部会長）

はい、ありがとうございます。

事務局、ちゃんと書いといてくださいね。はい、今のお話を。はい。ありがとうございます。

はい、どうぞ。

（新谷委員）

こんばんは。新谷です。

ふれあい花壇のお話は、区長、聞かれていますかね。聞かれています。どういうふうになるんですかね。結果として。聞かれてないんですね。じゃあちょっと言いますね。

放出の浄水場の上にふれあい花壇っていうのがあるんです。

何か来年リフォームされるらしいんですけれども、私たちが今、管理してる、ふれあい花壇には水道がないんですよ。3年前から水道とめられてるんです。

ことしの夏も暑かったんですけど、そばの蓮池からじょうろで何十回も水を汲んではかけ、水を汲んではかけ、もうひどい目に遭ったんです。花は枯れてしまうし。

それで、7月に下水道局と、それから城東区の方と何か公園局と3者でお話ししたんですけど、ホースを地面に埋めて、それで水量をふやすっていうことだったんですけど、地面に埋めたホースは土ですぐに詰まってしまうんですね。それで水量をふやしてくれるっていうことで水量をふやしてもらったんですけど、設定してるもんですから、雨が降ってもずっと水が出て、今度は根腐れになるんです。

水道を引いてくださいってずっと何年も前から言ってるんですけど、全然引いてくれないんですよ。

私たちの声がどこまで届いてるのかなって思うんですけど。

挙句の果て、立派な屋上のグリーンのいっぱいある芝生のある蓮池のある立派な庭園なんですけど、9時半しか開園できなくて、月曜日と火曜日は休みなんです。

区の人が、町会の人が時々何かイベントに使うぐらいで、訪れる人も少ないんですよ。

城東区は公園が少ないですから、もっとあそこを上手に利用して、リフォームするのであればもっと何か考えて、水道栓をつけてほしいです。下水処理場に水道が引けないっていうのは本当におかしな話です。もう何年も前から言ってるんですけど、まだ実行されてません。区長、教えてください。

(岡本課長)

こんばんは。市民活動支援担当課長の岡本でございます。

私も先日、寄せていただき、事情を知ったところでございまして、まだ区長のほうには説明しておりません。どうも失礼いたしました。

若干説明させていただきます。平成17年に放出下水処理場の上部施設として、市民農園と屋上庭園というのが開設されたわけですが、開設時より屋上庭園の一部をふれあい花壇として、コスモスタッフ、今日、会長お見えになってないですが、コスモスタッフが種花事業でできました花苗を植栽し、花壇を管理していただいております。今、新谷委員がおっしゃったように、ふれあい花壇は自動散水にはなっておるんですが、十分な水やりができていないということで、コスモスタッフのメンバーの方が、トイレからホースを引っ張って散水していただいていたところなんです。

ただ、中に入ってる清掃業者の方から、それをされると水圧が下がるので農園のほうに水が回らないということで、それもやめてくれというふうにおっしゃられたわけですね。

以前、建設局と協議いたしまして、自動散水の届く範囲内で植栽するということとか、季節によって、夏場は散水の方法や時間を長くするとかというのは検討されてやることになったんですが、花苗が枯れてしまったということでございます。

今後、原因を究明いたしまして、建設局と善後策を詰めたいと考えておりますので、どうかよろしくをお願いしたいと思います。

以上です。

(新谷委員)

すいません。それで開園の時間は早くならないんですか。私たちは、水だけじゃなくて、花がら摘みもしないといけないんです。草も取りたいんです。

できればね、たくさんの人に来ていただきたい、見ていただきたい。種から一生懸命苗を育ててあそこに植えても枯れてしまう。それはもう悲惨な姿になるんですね。枯れてしまっ。行くたんびに悲しい思いしてるんですよ。

9時半でないとあそのエレベータの入り口が開かないんですよ。夏場は9時半に水をやるとしても遅いんです。もうもっと早く7時とか、そんな時間に水をやらないと、もうホースがあたたかくなって何かお湯かけてるみたいな感じになってしまっ。1回、2回ではやっぱりね、夕方水やりたい。

今のホースの穴をあけたホースが地面をはっているんですけど、それプラス水道つけてもらって、それでかぎをね、私たちに1つ欲しいんです。別に水道の水をたくさんぜいたくに使うわけでもなし、ほかの物を盗むわけでもなし、皆さん一生懸命、花づくりに励んでいるんで、それをお願いしたいんですけど。

(岡本課長)

わかりました。新谷委員のほうから、お伺いした意見、冒頭、申しましたように、ふれあい花壇につきましてはコスモスタッフのほうに管理のほうお願いしておりますので、コスモスタッフの皆さんの御意見を集約いたしまして、それから建設局のほうと、協議してまいりたいと考えております。

ですから、いろんな意見がまたそのときに出て来ようかと思しますので、皆さんの意見が一致した内容で、建設局のほうに、また相談してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

（谷口部会長）

はい、それでは、新谷委員、御発言は結構ですから、どんどん御発言していただいていいんですけど、一たんはこっちへ返してください。区長であり、担当それぞれどういう御発言が出るかが事前にわかっておりますと、そのような用意の仕方もありますけども、本日出て、わかってることはすぐにでも御返事できますけども、そうでない場合はちょっと日にちをいただく、そういうこともあるかと思しますので、済みませんが、これ皆さんのほうから御発言のときもその辺のことよろしく一つお願いします。

じゃあ、鍔委員、済みません、お待たせしました。

（鍔委員）

失礼します。お世話になっています。

会議の運営についてですけども、何回か出させていただいたんですけども、今も本当に御尽力と言うか、御努力されてることの中からの問題意識と言うか、御意見があったと思うんですけども、これまでも参加させていただいて、やっぱり問題意識、それぞれの方の問題意識であるとか、あるいは御活動を続けておられる中での具体、個別の問題であるとか、そういうのをこの区民会議にこう出されていかれる場合が多いかったんです。

一問一答と言うか、それに対して区役所の側の方がお答えになるという。なかなか私たちと言うか、何の力もないですし、初めてということもありますので、話し合いのこう土台と言うか、そういうものがなかなかそろわないので、そこへ参加させていただくことができなかったわけです。

やっぱり会議、一応の会議ですよ、です、ので、やはり共有していく、あるいはお互いによりよい解決の方法と言うか、着地点を見つけていくということが要るのかなというふうに思わせていただきますので、それぞれの本当に御活動とか御経験とか、あるいは問題意識を持たれてる、非常に高い問題意識を持たれてるという、その中からの発言というのは、もう非常に参考にさせていただいたんですけども、学ばせていただいたんですけども、ちょっともうちょっとこう広くと言うか、共有できるものにしていただけたらありがたいと思います。

もう1つは、先日、過日の全体会議ですか、あそこで最後のほうに議員先生のほうから御指導と言うか、なんというか、あられたと思いますけども、あの場で区役所について、御意見と言うか、御注文と言うか、をされるのはちょっとこう、かなというふうに、ほかの場があるやろというふうにちょっと私のほうは思わせていただきました。

それはあれなんですけども、きょうこれをいただきまして、バージョン2ですか、運営方針をいただいたということで、非常にバージョンアップされてるなというふうに読ませていただきました。

スタイルもレイアウトもですけども、課題の設定理由と根拠になるデータとか資料とか現状とかを本当に分析と言うんでしょうか、されてて、しかも我々にもわかる形でつくっていただ

いたというふうに思います。

非常にタイトな日程の中でここまでの物をこう仕上げられるというのは、業務がある中で非常に大変なのかなというふうに思わせていただきます。

グラフであるとか表であるとか、本当にうまく入れていただいているということと、それからこの運営方針が持っている意義って言うか、の意味、現代的な。これを位置づけを再度我々に示していただけたかなというふうに思っています。この前提になる、1 ページとかですか、なぜこれがあれなのかなという位置づけについて教えていただけたかなと思います。

その上でなんですけれども、これこちらのこの運営方針は10年計画ですか、の将来ビジョンというのをベースにこれらは単年度のアクションプランに落とされてると思うんですけれども、各年度の課題とか取り組みが書かれてると思うんですけれども、いつかも言わせていただいたかもわからないんですけれども、柱立てがやっぱり区民によって、区民の力による自立的な地域運営についてここに書かれてるということ。それから区民とこう連携とか教育をしながら安全とか安心なまちづくりをつくっていかれると、目指していかれるということ。それから健やかでというようなことなんですけれども、きょう話し合えという区役所の役割ですね。

ただ、先ほどの人材育成、次世代の人材育成ともかかわるんですけれども、さらに活力のある城東区というような内容が、以前にもそれはもう当然のことやというふうに言われたんですけれども、例えばこの2ページの今後も職・住のバランスの取れた区としての発展についていう、この辺のことをやはり書いていただければ、よりさらにというふうになるのかなというふうに勝手に思わせていただきました。

もう1つは、タテ・ヨコ・ナナメであるとか、それから非常に情緒的と言うか、主観的と言うか、このような言葉がちりばめられていて、行政から出される文章と言うか、にしては非常に情緒的やなというふうに読ませていただきました。

例えば、気持ちよくとか、近所づき合いとか、じゃあこれができないと言うか、これが実現された形はどうかというのが、やはりもうちょっとこう客観的な形で今は語られる時代だと思いますので、例えば健康であるとか、あるいは全部網羅されてるんですけれども、もうちょっとこう尊厳であるとか人権であるとかも含めて、情緒だけではなくて、もう少し何か環境保全と言うか、環境の整備とかも含めて、自然環境も含めて何かそういうようなことが、健康とか安全とか、あるいは安定とか、それから尊敬であるとか尊厳であるとか、そして区民一人一人の自立であるとか、あるいはそれこそ交流であるとか等々ということです。

そんな形で、もうと言うか、せっかく区長がかわられたんですから、これ今までのやつをこう踏襲されてる形になられてんのかなというふうにちょっと思わせていただきました。もう少し行政と言うか、そこの専門的な立場で全体性と言うか、高い視点からと言うか、高所からと言うか、そういうふうなことを逆に示していただけたらいいなというふうに読ませていただきました。区役所についてはまた後で言わせていただきたいと思います。

(谷口部会長)

はい、ありがとうございます。

区役所についてというのは、区役所の対応云々、その辺のことのお話ですか。今のお話では、結構、区役所のことをお褒めに預かったような気がするんですけどね、きょうの運営方針その

他バージョン2、それから資料2のほうへ至るまで、一応、鍔委員のほうのお話はそんなふう
に理解しましたが、それでよろしゅうございますか。ありがとうございます。後ほどまた区役
所のほうのことについての御発言もあるそうでございます。

はい、お待たせしました。滝本委員。

（滝本委員）

こんばんは。蒲生の滝本といいます。

以前、城東区ではフォトコンテストっていうのが、3年前に確か中止されて、それまで実はフ
ォトコンテストっていうのが続けられてたと思うんですね。

それがなぜ中止されたのかということをお聞きしたいということと、今、その後、城北運河、
7ページの、ふるさと城東区を誇りに思う、こういういろんなイベントが、多くやられてきて
るんですね。

そのイベントを市民目線でフォトコンテストという形で、もう1回見直していただけないかな
と。多分、前に中止になったのは、テーマがコスモスであるとか、あるいはモクレンである
とかという単純過ぎて出品者の、息が続かなかったんじゃないかというふうに思うんですよね。
そういう新しい目線で新しいテーマをこの掲げて、ぜひ区民フォトコンテストを再開してい
ただきたいなど。

特に、このごろカメラだけじゃなしに、記録媒体としては、スマートフォンとか、こういった
記録媒体が、非常に多くなってきてますので、参加者がふえるんじゃないかなと。

それから、もう1つは、前、私が申し上げた囲碁ですね、城東区でもあちこちでこう囲碁をや
られてるサークルっていうのが、たくさんあるんですね。

これはきょう言うてあすやれる問題じゃないと思うんですが、一つぜひそういう目線を、ど
なたかが持っていて、城東区全体を盛り上げて、囲碁で盛り上げていこうという何か機運
が高まらないかなと。これはあくまでも希望です。

例えば、私ずっと聖賢小学校で十数年、子供囲碁教室をやってきてるんですが、そこで参加
される子供さん、その親御さんに聞けば、子供はやっぱりほおっておくとどうしてもゲームに走
ってしまうと。ゲームに走っていく時間を、囲碁で、囲碁をやらせたいんだということで参加
しておられる方がいらっしゃるわけですね。そういう意味で、この囲碁を、囲碁は4,000
年の歴史があるというふうにいわれてるわけですね。そういう点で取り上げていただける目線
を持っていただければ幸いです。

以上です。

（谷口部会長）

はい、ありがとうございます。

囲碁は4,000年ですか。

（滝本委員）

日本へ来て1,300年になります。

（谷口部会長）

なるほどね。勉強になります。ありがとうございます。

ほかにどうでしょうか。

はい、藤田委員。

（藤田委員）

きょう考えてきた2点目でございます。

地域的なことになってしまうんですけども、おとしぐらいから奥野課長にはお願いしてたんですけど、今福から菫の古市3丁目まで、ポリボックスがないんです。まちづくりという点からして、やはりイズミヤを越えてでもないんです。ポリボックスが。そういう地域性のことがありまして、何度かお願いをしたんです。その間に人口増加、それから犯罪が多いかどうか。それからもう1点何やったかな、何かそういう指摘がありまして、全部網羅しているのは私たちの地域なんです。そういう意味では、やはり今後のまちづくりの一環としての交番っていう物の設置ですか、そういうものに対してのやっぱりまちづくりの一環ではないかなんと思っていますので、また検討をしていただきたいと思います。

以上です。

（谷口部会長）

はい、ありがとうございます。

これは大阪府の問題ですな。警察が相手ですから。はい、一応お聞きしておきます。今福からどこと言われたかな。

（藤田委員）

菫の3丁目まで。

（谷口部会長）

今福から古市3丁目。

（藤田委員）

古市3丁目から今福のイズミヤ越えたところまで一切ずっとないんです。

（谷口部会長）

イズミヤを越えたところ。

（藤田委員）

はい。そやから菫連合、今福連合、鯉江連会かな、全部で1カ所もないんです。はい。関目はね、あそこにずっとありますけどね。

（谷口部会長）

ええ。ではそこは今どこの交番のエリアになってます。

（藤田委員）

お話を聞くと、鶴見西だった、それから関目のどこやったかな、どんぐり公園のところ。

（谷口部会長）

南関目交番。

（藤田委員）

はい、はい。そこに行きなさいということで、ひたくりあったときもどんぐり公園まで行きました。

（谷口部会長）

はい。

（藤田委員）

私たちはすぐ隣に越えて鶴見にあるんです、ポリボックス、信愛じゃない、産大の前入ったところにあるんですけど、そこに行きなさいっていう指導なんです。

（谷口部会長）

そうですか。

（藤田委員）

これではね、いけないと思うんです。

（谷口部会長）

はい。

（藤田委員）

まちづくりだと思うんですが、いかがでしょう。

（谷口部会長）

わかりました。

はい、今の関連ですか、新谷委員。はい。

（新谷委員）

私も、藤田委員と同じように、去年こういうことを直接、府会議員の方をお願いしたんです。そしたら家の近辺はまだまだ治安がいいので、治安が悪いところは何ぼでもあるんで、まだ大分無理やろということを言われたんです。

でも、結構、近所の人に聞いたら、自転車パンクさせられたり、それから何か見たことのない自転車が家の前にほり投げられてあったりとか。結構いろいろちっちゃいことがあるんですよ。

うちの周りは保育園が、幼稚園があり、それから中学校があるんです。

鳴野の商店街のところしかないんですよ、ポリボックス。それで放出西は全然ないんです。放出の駅前にポリボックスがあるんですけど、あの区間は全然ないんですよ。だから置いてくださいってお願いしてるんですけど、府会議員の方はそのように治安が悪いところから順番に置くから、まだまだ先やっていうことなんですけど。

（谷口部会長）

すみません、どこに置いてというふうに言い合ったんですか。

（新谷委員）

私は、できたら放出西の中学校の横の辺がいいと思うんですけどね。

（谷口部会長）

その界限ないんですか。

（新谷委員）

ないです。全然ないです。

（谷口部会長）

はい。府会議員の先生、しかたさんのこと。

（新谷委員）

そうそうそう。

（谷口部会長）

いや、名前出して悪かったかな。

（新谷委員）

いいですよ。

（谷口部会長）

はい、わかりました。

（新谷委員）

はい。

（谷口部会長）

これも先ほどの話と一緒にね、大阪府の問題でありますから、ちょこちょこ城東警察署にも行きますから、その辺のこともあわせて、私のほうからもちっと聞いておくことはできます。区役所さんとはまた別個にね、はい、どういう状況なんか1回ちょっと聞いておきます。個人的に。はい。

ほかにいかがでしょうか。

はい、萩原委員。

（萩原委員）

ゆめ～まち～未来会議から出席させていただいています鳴野の萩原と申します。

いよいよ11月24日、第3回SARUGAKU祭が開催されます。今回は3回目になりますので、本当にたくさんの各種団体の方から御協力をいただきまして、連長様とか地域活動協議会、そして青指さん、PTAさん、子供会さん、その他本当にたくさんの、防犯の方も谷口さん初め、本当に深くかかわっていただいて、まちづくり、城東区のまちづくりをみんなでしましょうという雰囲気が大分構築されてきたかなって思っています。

本当にこの場をおかりして皆様にお礼を申し上げたいと思いますし、24日、もうすぐですので、皆さん時間がおありでしたらぜひ蒲生公園へいらしていただきたいと思います。雨のときもまたいろいろ考えておりますので、ぜひ、ゆめ～まち～未来会議のホームページごらんいただきまして、参考にして来ていただけたらと思います。はい。

それと、あと1つ、鍊委員の先ほどの御意見を伺ってしまして、各それぞれのまちづくりにかわるものからの意見が突出していて、そうではなくて、もっと高いところから区政を論じるようなことはできないのかっていう御提案を先ほどいただいたように思います。私もこの場に何回か出席させていただいて、本当に鍊委員のおっしゃるとおりやなって思います。

でも、それをするにはどうしたらいいのかなっていうのが私はちょっとどうしたらいいのかっていう、もう自分の身近にある意見しか本当に素直に言えないので、もうちょっと高いところから立った議論が、深い議論が、城東区をよくするための議論がこの場でできると本当にいいなって私も思っています。

以上です。

（谷口部会長）

はい、どうもありがとうございました。

関連ですか。はい、滝本委員。

(滝本委員)

SARUGAKU祭ってどういうこと。

(谷口部会長)

まず行ってください。はい。昨年、一昨年とやっています。

昨年、一昨年と3カ所でしたね。3カ所に分かれてやってましたので、蒲生公園とか城東商店街とか、もう1カ所は区民ホールか、こうすることで3つに分かれてやってました。

それでは、近くの人にはわかるんですけども、どうせのことなら1つにして、もっと大きくやったらどうか。例えば夏の城東まつり、秋のSARUGAKU祭、そんなことを目指してというようなことで皆さんの意見がまとまりまして、3年目のことしが蒲生公園グラウンドで全部やるということになったと。

萩原委員が今、一生懸命御案内されました。ぜひ滝本委員、行ってください。もう行ってみてもろたら皆わかります。説明してもうたら、私、多分30分ぐらいかかる。もう一見にしかず。ぜひ行ってみてください。その資料も今お配りいただいておりますので、ふれあい城東でも配っておられますし、そんなことで行っていただいたらありがたいと思います。

はい、萩原委員が言い足りん言うてますんで、どうぞ。

(萩原委員)

SARUGAKU祭の御質問、本当にありがとうございます。

先ほど滝本委員がおっしゃっていたフォトコンテストとか囲碁の大会とかっていうところも、このゆめ～まち～未来会議ではいろんなイベントを計画して、それを実行しています。楽しい城東区にするために私たち区民がみずから動いていこうというのがゆめ～まち～未来会議なんですね。

もしよかったら滝本委員もゆめ～まち～未来会議入っていただきまして、フォトコンテストとか囲碁大会とかを提案していただきましたら、ゆめ～まち～未来会議として城東区の共同事業としていろいろ開催していくことができるんですね。ぜひ御一緒にしていけたらうれしく思います。

以上です。

(谷口部会長)

はい。非常にいいお話でございました。だから滝本委員のほうはそういう場面のとこに行かれて御発言されたらもっといいと思います。

土俵はありますよね、ゆめ～まち～未来会議の中にはね、そういった一連のことの、先ほどもお花のことも出てました。こういうこともすべてその中でいろんなことをやっておられる方がたくさんおられますので、一つ勧誘しておきます。ぜひお入りください。

まだもう少しお時間がございますが。

大竹委員、何か言いたそうな顔をしてはったけど、よろしいですか。

(大竹委員)

諏訪の大竹です。

言いたいことは全くないんです。私もこのね、感心してるんです。特に物事を進める上でプラン、ドゥ、チェック、アクションということで、プランをしっかりとやって、それを実行して、

それでそれを眺めて、まずけりゃそれを訂正するという、それに沿って、この経営課題が非常にこう明確に出されて戦略が出ると。

まだこの道に入ってまだ経験が浅くて、指摘するようなそういったことはできないんですけども、これ皆できたらもう本当そんななん何もすることないと思うぐらい、もう完璧やと思うんです。やはり日本の公務員の皆さんは頭がいいって言いますか、こういうのを本当に上手におつくりになってすばらしいなと思うんですけども、本当にこれ全部ができるんかなということが気になつとるんで、取捨選択という、そういうこともやりながら、これだけは絶対外したらいかんということにやらないと、この消化が大変だなという気がするんです。

それと、例えば1つの例で歴史を見よということで、これにお金を、ことしは何か4, 500万円ですか、すごい予算を奮発してと、こうなってますけども、去年が1, 500万円であったやつが4, 500万円ということで、何ページでしたかね、どっかありましたね、これが本当できたらすばらしいんですけども、果たしてじゃあその影響を受けて削られる要素がどこにあんのかなということは、ちょっと私、今、見えないんですけども、こういうところにお金を重点的にやっぱり金をこうしてこのような愛する城東区として、やっぱりこのどういう町であるか。昔からこういうふうに連綿としてつながっておる、そういったことを、子供たちあるいは若い人たちが知ってくれることによって、そういった人達も育ってくれるだろうということで、非常にこの私はいいいことだと思いますんで、ぜひ3倍にふえたこの予算ですか、これぜひ実行していただきたいなと思うんですが、ちょっと、ちょっと心配してるなというふうな感じがする。新たにここはちょっとまずいなというようなことは、私の今のレベルでは発見できません。ぜひこれを実行するというところで一つ我々も努力していかなといかんですけども、そういった御指導と言いますか、先導していただいて、かけ声倒れだけにならないようお願いしたいなと。我々も自戒を込めてそういう考えを今ちょっと披露させていただいたということです。私の見解です。

(谷口部会長)

どうもありがとうございます。

きょうは城東区役所どうしたんでしょうね。何か褒めていただけることが続くんですけども、ありがとうございます。

それじゃあ、奥野課長。

(奥野課長)

いや、まずちょっと2点ほど。まず先ほど会長がおっしゃられました予算の件なんですけども、39ページ、40ページ、41ページというところに予算の総括が入っております。それで総額で言いますと、平成26年度の41ページの一番下に書いておりますように、平成26年度が3億1, 781万6, 000円、平成27年度が、まだこれ要求ベースですけども、3億5, 573万円ということになっておりまして、今現在3, 807万4, 000円の増減ということでの増になっております。

その中で、まず切り詰めたというお話もございましたけども、三角印が立っているところで主なもので行きますと、一番最初に、アイラブ城北川プロジェクトというのが39ページにございますけども、これが、平成26年度はブランド化ということもございまして、1, 207万

6, 000円ということでしたんですけれども、今年度は、そこまでということもございまして、499万8,000円ということで、707万8,000円の減というふうになったところでございます。

その他、少しずつ削るべきところは、削るべきと言いますか、節減もしながらということで、少しずつ三角印が多くなっているかと思えますけれども、そういったことでまず減らしているということでございます。

その後、ふえることなんですけれども、特に御指摘のありました魅力事業ということでございますけれども、ちょっと書き方が、こちらもちっと混同されるような書き方をしてしまったんですけれども、いわゆる魅力創出ということでいけば、この39ページの2番に書いておりますように、528万7,000円ということで、そちらのお金でやっていこうと思っています。しからば先ほどの3,000万円は何かということは、広報紙、これは都市魅力発見だけではなくて、区政運営すべての全般について、今現在お配りしております、ふれあい城東のタブロイド版ということでございましたけれども、A4判ということで、今ちょっと他区でやっているような、お見せできないんですけれども、大きさでいけばこの運営方針みたいな形になるんですけれども、ページ数はこれほど取れないんですけれども、こういった形でやっていくということで、やはりタブロイド版よりもA4判のほうが経費というのはかなりかかりますので、ただ情報発信というのは、区政の情報発信というのはこの区政会議でも、しばしば言われてたことですし、もっともっと区の状況を、皆さんに知っていただきたいということもございまして、今回はこの41ページの下から3番目にありますように、1,582万5,000円だった区の情報発信を3,922万円ということで、2,339万5,000円ということで1つ大きく予算要求しているというような状況でございます。まずこれが予算の考え方でございます。

それと、あと鍊委員なり萩原委員がおっしゃられておられました、いわゆる大所高所からというお話でございます。我々、区政会議の運営についても今後どういうふうに進めていこうかなというふうに日々悩みながらやっておるところなんですけれども、今回こういう形で小冊子にして取り組んでおりましたけれども、今後、また来年の課題ではありますけれども、いろんな現状とかデータを、多く、今回も少し出させていただきましたが、そういった現状データを出して、そこから皆さんに議論していただいたほうがいいのかなと。これまではちょっと我々も先に戦略とか、具体的取り組みをお出しして、お話をさせていただいてたというふうなやり方だったんですけれども、もう少し原点に返って、こういった現状でありますとかデータからさらにと言いますか、御議論いただくのも1つの考え方かなというふうに思っておりまして、その辺はもう平成27年度というわけにはいきませんので、平成28年度の宿題というふうに考えているところでございます。

私のほうからは以上でございます。

(大竹委員)

このこれが、A4の小冊子ですか、そういう姿に変わったときに、何が変わるんですか。中身が大分変わるんですか。これでこんな支障が出てるんですか。

(奥野課長)

支障が出てるということより、1つは、ページ数の問題、若干ふやしていかなあかんのかなと

いうふうなボリュームの問題もありますし。

（大竹委員）

ボリュームっていうのは、中身をもう少しふやして、もっと理解してもらいたいためにという意味ですか。

（奥野課長）

そういうことですね。

それと、もう1つは、手に取って見やすいかなというものもあります。

（大竹委員）

目先を変えて、もっと読んでもらおうという、そういう意味ですね。

（奥野課長）

そういう。

（大竹委員）

これ何も全然ね、悪いとは思いません。鈍感なんかしれませんが。

（奥野課長）

いえいえ。

（大竹委員）

それ一つ気になるんです。

（奥野課長）

以上です。

（谷口部会長）

もう1つありましたよね。さっき。いや、なければまだあります。こちら。よろしいか。一言、言う。はい。

（鍔委員）

すみません、区役所さん言われた後で大変申しわけございません。これはどこ向けにあれですか。この立派な。この会議用ですか。

（奥野区長）

実は、この運営方針っていうのは、24区すべてつくってございまして、各区の運営方針ということで。

多分この、こういう形で公表されてるのはうち、城東区だけやと思います。これは本来は、役所の中で、去年も見ていただいたと思いますけど、非常に何か役所チックな形で出してる物が、それを運営方針という形で、それも今、公表の中には入ってるんですけども、我々としてできるだけ区民の皆様にもこう読んでいただけるという形を目指してこういう形で、これはちょっと一手間も二手間もかかっておるんですけども、つくらせていただいております。

非常に中で議論してわかりやすい、できるだけわかりやすい言葉でということで、情緒的というような言葉もありましたけども、できるだけわかりやすくというのを念頭にやらせていただいたつもりでございます。

（鍔委員）

この場とか、限られた場であれば、これすごい労力がかかられてると思うんで、このまださら

にふやされるというふうに今おっしゃられたんですけども、それはそれであれですけど、それよりもやはり実態とか現状をどのようにこう分析され、あるいはそれをどういうふうな御見解を持っておられるかと言うか、そここのところを聞かせていただだけで我々は後広げていけるというふうには思わせていただいていますので、これこことか議論のためのあれであれば、口頭でおっしゃっていただく、あるいは主張していただくという、それで足りるのかなというふうには思わせていただくんですが。

（奥野区長）

当然この部会にだけという意味ではなくって、広く区民の方に知っていただく資料としてつくらせていただいています。もうホームページで公表させていただいていますし、印刷、増刷はしてませんけども、手に取って持って帰っていただけるような形も取っていきたいというふうには考えております。

（鍬委員）

区役所のお仕事と言うか、職務と言うか、窓口サービスとか書かれてるんですけども、前も言わせていただいたと思いますけども、目に見える形でサービスというのもそれは当然と言えば当然なんですけど、今の流れの中で。

ただ、例えば有事の際に城東区民十六、七万人ですか、おられる、その全員が避難して、だれひとり被害が出ないというふうなことを、その中心になっていただいたり、あるいはこう長い展望の中で10年、20年というふうに書かれてますけども、そういう展望の中でこの町って言うか、ここをどのようにつくっていくかというようなことを専門的と言うか、その立場で指導していただけたらというふうに、それこそが行政って言うか、そこに携わられると言うか、その方たちの大阪市の本当に優秀な行政の方の本来のあれかなというふうに期待させていただくと言うか、お願いさせていただくと言うか、何を言うてるかよくわかりません。ただ単に星がどうのというのはそうなんですけど、今の流れとしてはそうなんですけども、それだけではなく、本来の担われる地方行政と言うか、地方自治と言うか、そこを中心になってされる区役所の方々の皆様方のあれは仕事かなというふうに、いつもですけども思わせていただきます。僭越ですけども、申しわけありません。

（谷口部会長）

はい、ありがとうございました。

要するに、区役所は褒めとるんですよ。区役所の方々のここまでやっていただけたかということとを鍬委員は言いたいわけです。

非難めいたお話はありませんので、今のお話の中には。誤解のないように一つ区役所の方々、お聞きいただきたいと思います。

先ほどSARUGAKU祭のお話が出ましたので、ここでキャンドルナイトの結果を申し上げたいということで、副部会長の中山委員にちょっと一声かわります。

（中山委員）

城北川の中山でございます。

この前の土曜日、15日に、キャンドルナイトということで、城北川のほとりにろうそくを立てて、皆さんに来ていただいたんですけど、この戦略1－1というところで、「タテ・ヨコ・ナ

ナメにつながるまちづくり」というようなことがあります。あのイベントで全くこれを私も実感をしたなという感じをしておるんですが、さまざまな活動を縦、横、斜めでつなげるといふようなことで、奥野課長、御説明されましたが、このときに、ゆま～まち会議、萩原委員、さっきお話しされましたけど、ゆめ～まち会議のろうそく能ということで、お能のイベントを、同じ時間帯にやったということで、これうまいこと横でつながったかなといふようなことと、それからもう1つ、地域の皆さんの非常に御協力、これ昨年やってことし2回目だったんですが、昨年は予想に反して人手が多くて、担当の皆さんが大慌てをしたといふようなことがあったり、12月にやりましたんで、非常に寒くて風が吹いてろうそくが消えたりといふふうな失敗がいろいろあったんですけども、ことしはそういう失敗は全部ある程度修正しながら、特に谷口委員の関目東の防犯委員さん、それから董連合の防犯委員さん、全部出ていただきまして、ろうそくに火をつけていただいたといふようなことで、非常に地域ぐるみでことしはできたといふことで、本当に今のところ縦、横、斜めつながりつつあるのではないかなといふふうな感じをいたしております。

10月15日には城北川フェスティバルということで、あそこに例のドラゴンボート操船体験といふことでやったんですが、これは今までやってきた中で一番応募が多くて、抽せんをするときにも非常に全部何とか乗っていただきたいところで、急遽数をふやしたりして、やっていたので、少しずつやっぱりやってる間に皆さんに浸透していったらいいなといふふうな感じはしますが、まだまだメジャーじゃありませんので、これを続けることによってちょっとずつ城東区のこういうイベントも知られてくるんじゃないかなといふふうな感じがしておりますので、一つ今後ともよろしく願いいたします。

以上です。

(谷口部会長)

はい、どうもありがとうございます。

そろそろ時間も参ったようでございますので、本日、御発言をいただきました御意見につきましては、今後、事務局におきまして、平成27年度の運営方針や予算案の策定過程におきまして、御配慮をしていただきまして、その状況はまた次回の本会の場で、御報告をしていただきたいと存じますが、皆さんそれでよろしゅうございましょうか。

はい、ありがとうございます。

それでは、本日、御出席いただいております議員、ホンダ議員のほうから御助言をいただければ、一つよろしく願いいたします。

(ホンダ議員)

お疲れさまでした。御助言というものもできないんですけど、本当寒い中、皆様お疲れさまでございます。

本日もたくさん御意見をお聞きして、大変勉強になりました。地域活動協議会の代表で来ていただいている高橋委員だとか吉田委員とかに地域での活動内容とかが聞きたかったというのは、私の感想でもあります。各種団体の方が区として動いておられるのが、また共有できたのがよかったと思います。ありがとうございました。

(谷口部会長)

どうもありがとうございました。ホンダ議員ありがとうございました。どうも。

それでは、本日の議題は終了いたします。皆様の活発な御意見どうもありがとうございました。最後に、事務方のほう、よろしくお願いいたします。

（安倍課長）

谷口部会長、また中山副部会長様、ありがとうございました。

それでは、私のほうから最後に事務連絡をさせていただきたいと思います。

先の区政会議本会でいただきました御意見、また本日いただきました御意見を踏まえまして、区運営方針案や予算案を作成しまして、次の1月末から2月初旬ごろの本会で平成27年度城東区運営方針（案）及び予算（案）を皆さんにお示しさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

また、資料3の御意見シートにつきましては、後日、郵送、ファクス、メールにてお気づきの点がございましたら御提出をお願い申し上げます。

長時間にわたりまして、まちづくり部会、御議論参加いただきましてありがとうございました。お氣をつけてお帰りください。

（谷口部会長）

どうもありがとうございました。